

ほけんたより 12月



保健目標

- ★衣服の着方を考えよう
- ★冬を健康に過ごそう



2014/12/04 富野小中学校 保健室

エイズとはどんな病気で、どうしたら予防できるのか、そしてHIV感染者やエイズ患者と共に生きるためにどうしたらよいか考えてみましょう。私たち一人ひとりがエイズについて真剣に考えることにより、自分と大切な人を守ります。

クイズで学ぼう

HIV/AIDS 日本の今

1

日本国内のHIV感染者は、10年前と比べて

- ①増えている
- ②減っている



2

日本国内の1日あたりの新規感染者数は

- ①1人
- ②2人
- ③3人



3

HIVの新規感染者が多い年代は

- ①10歳代
- ②20歳代
- ③30歳代



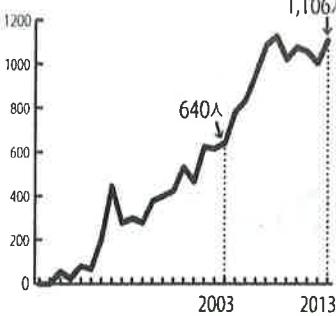
4

感染経路で、いちばん多いのは

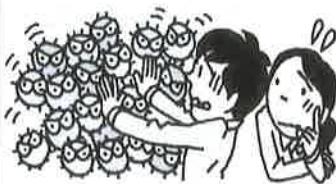
- ①薬物の静脈注射
- ②性的接触
- ③母子感染



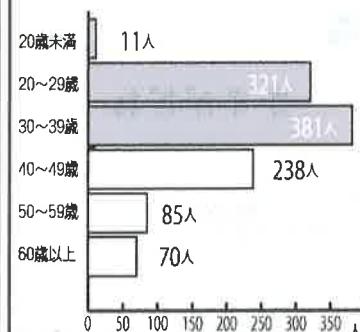
2013年の1年間に、新たにHIVに感染した人は、1,106人で、過去2番目の多さでした。10年前の1.7倍に増えています。



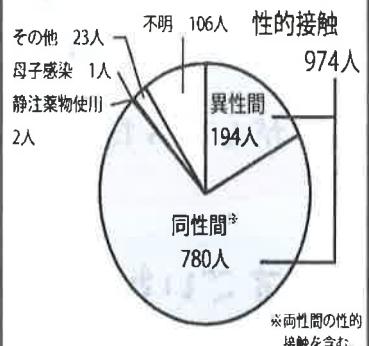
2013年は、1日あたり約3人が新たにHIVに感染しました。2014年は、6月末までの時点で、1日あたり2.9人が感染。過去2番目に感染者が多くなった去年と、ほぼ同じペースで増え続けています。



30歳代が381人と最も多く、次いで20歳代321人となっています。20~30歳代が新規感染者の6割以上を占めています。



性的接觸による感染者は、全体の88%で最も多く、特に同性間での感染が増えています。



※データ：「平成25年エイズ発生動向年報」厚生労働省エイズ動向委員会、平成26年5月22日

基本的な習慣として次のことを身につけておきましょう。

血液の扱いで知りたいこと



体や服に血がついたらなるべく早く洗い流す。



カミソリや歯ブラシ、くし、タオルなど血液がつきやすい物は自分専用にする。



素手で血液や傷口にさわらない。

エイズにかぎらず、病気にかかった人にとって、病気とたたかうのは大変なことです。病気などで傷ついている人の心を助けてあげられるのは、やはり、人の心の温かさです。エイズデーをきっかけに、家族や友達など、まわりの人のいろいろな病気について考えてみてください。



人権週間

12月3日～12月10日

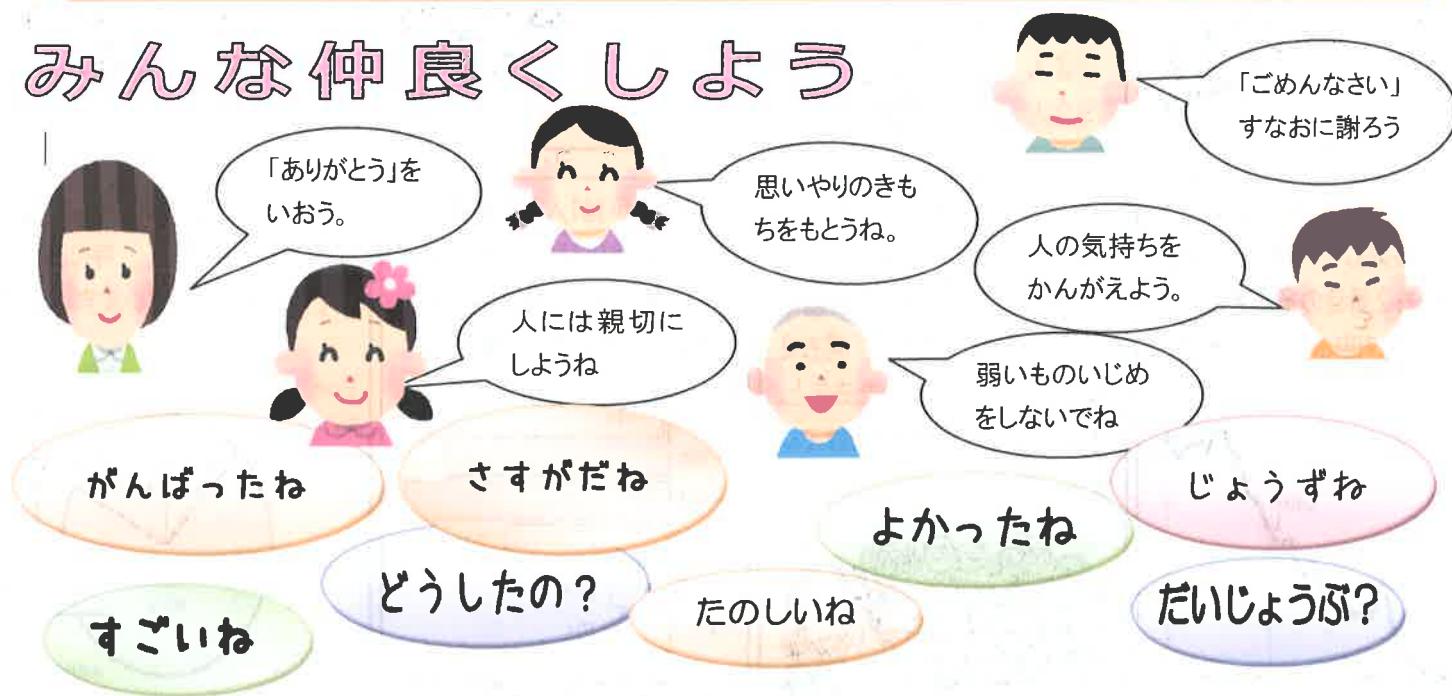
人権週間が始まりました。



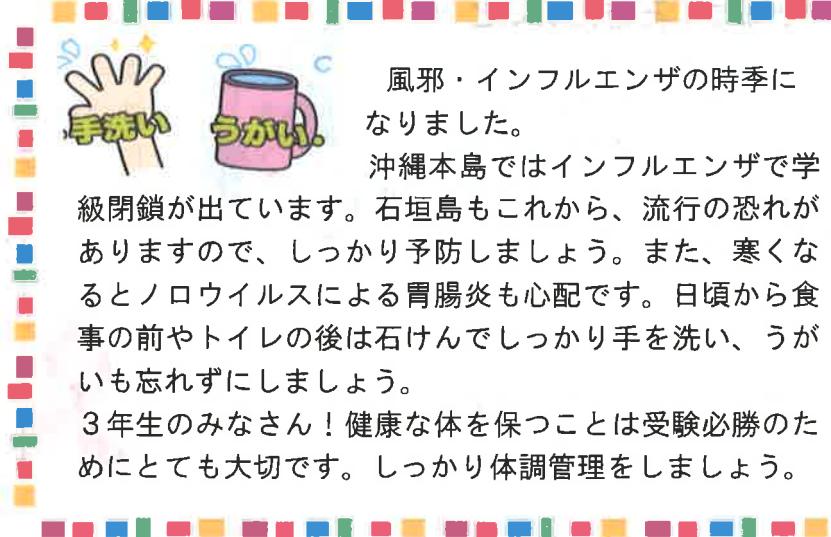
人権は大切なものです。何を大切にするの？ それは「心♥」です。

大切なことは「命を守ること」「安心して生きていけること」です。みんなが人として正しいことをすることが、人権を大切にすることです。今月は、「他の人を大切にする」「思いやり」ということはどんなことかを考え、行動できるようにしましょう。そして、ひとりひとりの温かい気持ちが、思いやりのあふれる、すてきな富野小中学校をつくりていきます。みんなで心を一つにして「しあわせな学校」にしていきましょう。

みんな仲良くしよう



相手の気持ちを 考えて
あつたかことばを たくさんつかいましょう



かぜ気味のときは…

